

2012年2月期 決算説明会

2012年4月10日

CircleK Sunkus



(証券コード:3337)

株式会社 サークルKサンクス

2012年2月期 決算概要

CircleK Sunkus



株式会社 サークルKサンクス

取締役経理財務本部長 山口 利隆

連結業績ハイライト



(単位:店、百万円)

		2011/2期	2012/2期		1/19修正計画
			前期比	計画比	
	出店	325	360	+35	-2
	閉店	282	264	-18	±0
期末店舗数		5,445	5,548	+103	-2
チェーン全店売上高		923,185	979,815	+6.1%	-0.1%
営業総収入		192,304	187,799	-2.3%	+0.0%
営業総利益		133,120	135,855	+2.1%	+0.2%
販管費		114,548	113,898	-0.6%	-0.6%
営業利益		18,571	21,957	+18.2%	+4.7%
経常利益		17,477	21,338	+22.1%	+5.1%
当期純利益		7,165	9,378	+30.9%	+7.4%

※ 1. 2012/2期より、サンクス東埼玉株式会社が連結対象に加わっています。

2. 2012年2月21日付で、株式会社99イチバはユニー株式会社の完全子会社となっているため、2012/2期および1/19修正計画の期末店舗数にみんなのイチバの店舗数は含んでいません。

単体業績ハイライト



(単位: 店、百万円)

		2011/2期	2012/2期			1/19修正計画
				前期比	計画比	
出店		301	325	+24	-2	327
閉店		258	242	-16	±0	242
期末店舗数		5,001	5,084	+83	-2	5,086
チェーン全店売上高		855,010	896,403	+4.8%	-0.1%	897,550
	既存店前年比	-1.4%	+3.1%	—	-0.1%	+3.2%
平均値入率		27.69%	27.14%	-0.55%	+0.01%	27.13%
営業総収入		163,253	157,209	-3.7%	+0.0%	157,170
営業総利益		122,899	123,952	+0.9%	+0.3%	123,640
販管費		104,584	102,558	-1.9%	-0.6%	103,200
営業利益		18,315	21,393	+16.8%	+4.7%	20,440
経常利益		16,888	20,169	+19.4%	+4.7%	19,270
当期純利益		7,277	9,318	+28.0%	+9.5%	8,510

※ 平均値入率の前期比は増減です。

単体業績の前期差異要因



(1) 営業総収入 1,572億円(前期比 -3.7%、-60億円)

営業総収入内訳	前期比	前期差額	主要因
加盟店からの収入	+4.1%	+40.0億円	・既存店売上高前年比+3.1% ・加盟店売上高は前期差+511.1億円
不動産賃貸収入	-5.7%	-3.0億円	・Aタイプ店舗数が前期末差46店減少
自営店売上高	-18.2%	-97.1億円	・経営委託店舗の廃止に加え、閉店やFC付の 促進により、自営店数は前期末差153店減少
その他収入	-0.4%	-0.2億円	—

※ 加盟店からの収入には、エリアライセンスフィー2,581百万円を含む。

(2) 販管費 1,025億円(前期比 -1.9%、-20億円)

販管費内訳	前期比	前期差額	主要因
人件費	-0.1%	-0.1億円	—
広告・販促費	-0.9%	-0.5億円	—
賃借料	-0.1%	-0.2億円	・単体店舗数純増(+83店)するも、新店賃料抑制、既存店賃料改訂により前期比マイナスにとどめる
設備リース料	-12.0%	-7.0億円	・リースオンブックの影響による
減価償却費	+9.5%	+10.3億円	
その他	-10.8%	-22.5億円	・経営委託料が10.6億円減少 → 経営委託店が前期差119店減少 ・事務委託費が9.7億円減少

(3) 営業外収益 7.8億円、営業外費用 20億円

	前期比	前期差額	主要因
営業外収益	-23.3%	-2.3億円	・受取配当金が1.6億円減少
営業外費用	-18.0%	-4.4億円	・貸倒引当金繰入が1.5億円増加 ・資産除去債務会計導入により、閉店工事費用が4.7億円減少し、解約損害金が6.4億円減少

(4) 特別利益 23.6億円、特別損失 76.1億円

	前期比	前期差額	主要因
特別利益	+2,606.3%	+22.8億円	・株式会社シー・ヴィ・エス・バイエリアからの受取和解金15.3億円計上 ・関係会社株式売却益4.7億円計上
特別損失	+97.1%	+37.5億円	・減損損失が7.6億円減少 ・資産除去債務36.3億円計上 ・災害損失8.3億円計上

連結設備投資の状況



■ 設備投資の状況（リースを含む）

（単位：百万円）

	2011/2期	2012/2期	2013/2期 (計画)
新店投資	12,413	12,651	14,295
既存店投資	1,681	2,155	1,932
システム関連投資	1,806	1,577	2,007
本部関連投資	966	1,097	708
設備投資計(1)	16,867	17,479	18,940
リース対応分(2)	5,207	6,747	6,340
総投資額(1) + (2)	22,073	24,226	25,280

設備リース料 + 減価償却費	18,169	18,630	19,465
----------------	--------	--------	--------

2013年2月期 単体業績予想



(単位: 店、百万円)

	2012/2期 実績	2013/2期 (計画)			
		上期		通期	
			前年同期比		前期比
出店	325	160	+8	340	+15
閉店	242	107	+18	235	-7
期末店舗数	5,084	5,137	+109	5,189	+105
チェーン全店売上高	896,403	463,270	+1.8%	907,010	+1.2%
既存店前年比	+3.1%	-1.2%	-	-1.5%	-
平均値入率	27.14%	27.35%	+0.19%	27.39%	+0.25%
営業総収入	157,209	75,140	-9.0%	145,800	-7.3%
営業総利益	123,952	63,690	+0.2%	124,310	+0.3%
販管費	102,558	51,020	+0.2%	102,470	-0.1%
営業利益	21,393	12,670	+0.2%	21,840	+2.1%
経常利益	20,169	12,390	+3.1%	20,960	+3.9%
当期純利益	9,318	5,640	+85.0%	10,230	+9.8%

2013年2月期 連結業績予想



(単位: 店、百万円)

		2012/2期実績	2013/2期 (計画)			
			上期		通期	
				前年同期比		前期比
	出店	360	178	+5	379	+19
	閉店	264	114	-19	255	-9
期末店舗数		5,548	5,612	+57	5,672	+124
チェーン全店売上高		979,815	501,200	+0.7%	981,650	+0.2%
営業総収入		187,799	85,200	-13.6%	164,630	-12.3%
営業総利益		135,855	68,580	-1.7%	133,750	-1.5%
販管費		113,898	55,410	-1.9%	111,250	-2.3%
営業利益		21,957	13,170	-0.9%	22,500	+2.5%
経常利益		21,338	12,830	-2.5%	21,500	+0.8%
当期純利益		9,378	5,780	+79.4%	10,200	+8.8%

連結子会社	コンビニ6社	ゼロネットワークス	リテイルスタッフ
出店	39	-	-
閉店	20	-	-
期末店舗数	483	-	-
売上高	74,642	-	-
営業総収入	13,220	5,498	1,764
営業利益	244	646	36

※ 2012年2月21日付で、株式会社99イチバはユニー株式会社の完全子会社となっているため、2012/2期末店舗数にみんなのイチバの店舗数は含んでいません。

2012年2月期の振り返り

CircleK Sunkus

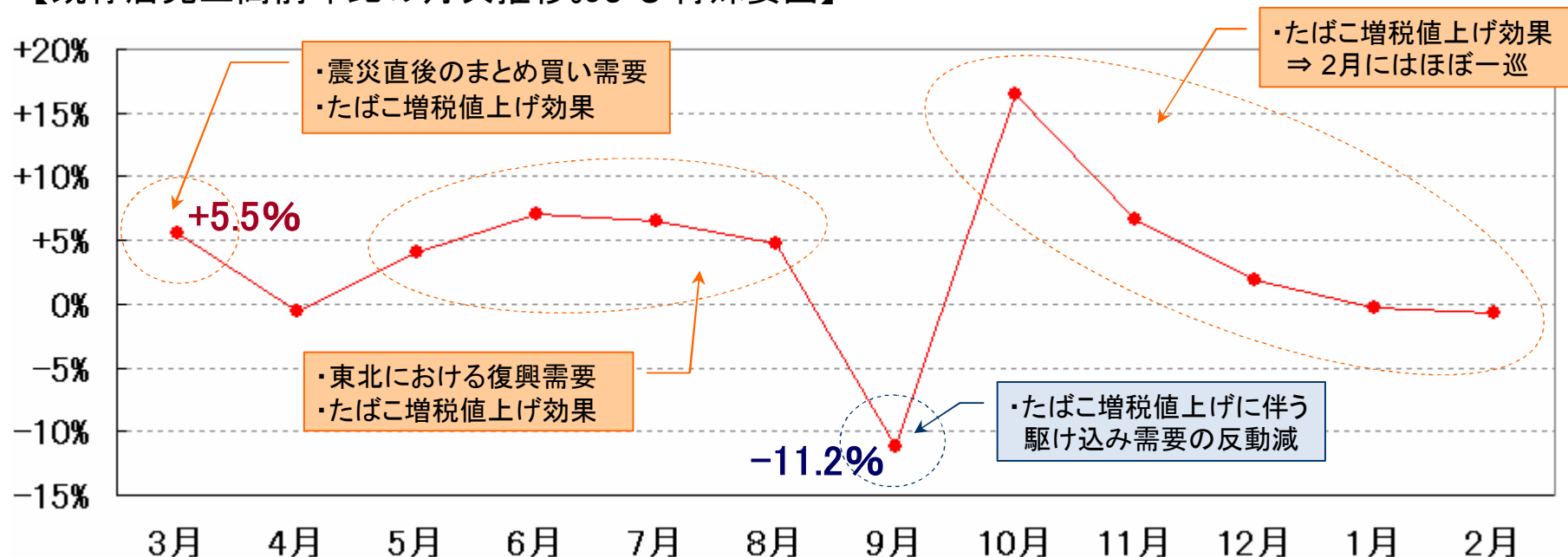


株式会社 サークルKサンクス

代表取締役社長 中村 元彦

既存店売上高前年比

【既存店売上高前年比の月次推移および特殊要因】



【地域別の既存店売上高前年比の状況】

北海道	東北	関東	甲信越	北陸	東海	関西	中国	九州
+2.1%	+6.7%	+2.1%	+4.6%	+5.2%	+2.4%	+2.9%	+3.8%	+12.6%

■既存店売上高前年比：+3.1%

・客数前年比：-0.7% ・客単価前年比：+3.8%

商品平均値入率



【商品群別の売上高前期比・売上高構成比・値入率の状況】

	売上高		値入率	
	前期比	構成比		前期差
ファーストフード	+3.8%	16.8%	38.1%	+1.1%
生 鮮 食 品	-2.3%	11.7%	34.9%	+0.0%
加 工 食 品	-1.1%	26.9%	38.1%	+0.7%
非 食 品	+12.4%	38.0%	15.0%	-0.8%
た ば こ	+17.6%	30.5%	10.5%	+0.0%
その他非食品	-6.1%	7.5%	33.7%	+0.4%
サ ー ビ ス	+6.3%	6.6%	5.0%	-0.3%
全 商 品 計	+4.0%	100.0%	27.14%	-0.55%

■平均値入率：27.14%（前期比-0.55%）

- ・低値入率のたばこ・サービスの売上が伸長
- ・たばこ・サービスを除く一般商品の値入率は大幅改善：37.00%（前期比+0.66%）

新店日販・出店の状況



(単体ベース)	2010/2期	2011/2期	2012/2期	
			実績	前期差
新店日販	41.4万円	43.1万円	41.8万円	-1.3万円
出店 (純増数)	285店 (+19店)	301店 (+43店)	325店 (+83店)	+24店

※ 純増数 = 出店数 - 閉店数

- 出店はほぼ計画通り、店舗純増数は着実に増加
 - 新店日販は前期比-1.3万円
- ⇒ 新店賃料の大幅削減により、新店の収益性は確保



【ミニ店舗 出店計画】

	12/2期(実績)	13/2期	14/2期
出店数	13店	20店	30店
累計店舗数	13店	33店	63店

- 駅構内を中心に、「ミニ店舗」を13店舗出店

自営店の状況



(単体ベース)	2010/2期末	2011/2期末	2012/2期末	前期末比
自 営 店	418店	351店	198店	-153店
直営店	196店	187店	153店	-34店
経営委託店	222店	164店	45店	-119店

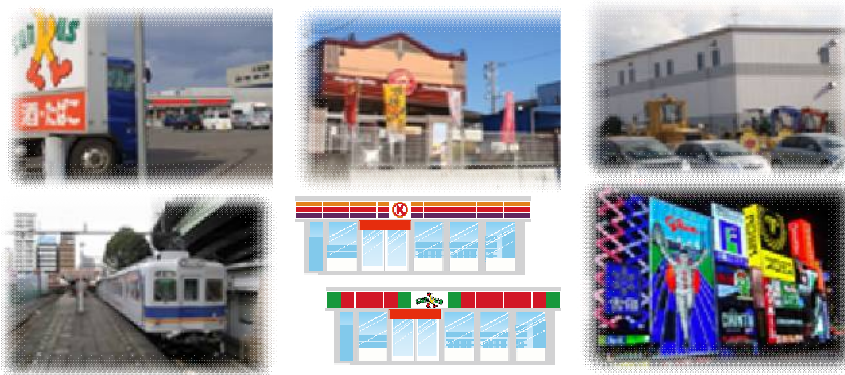
■自営店は前期末比 153店削減

- ・自営店削減による経費減：経営委託料(前期比-10.6億円)など

2012年2月期の主な取り組み



● 立地別品揃えの開始



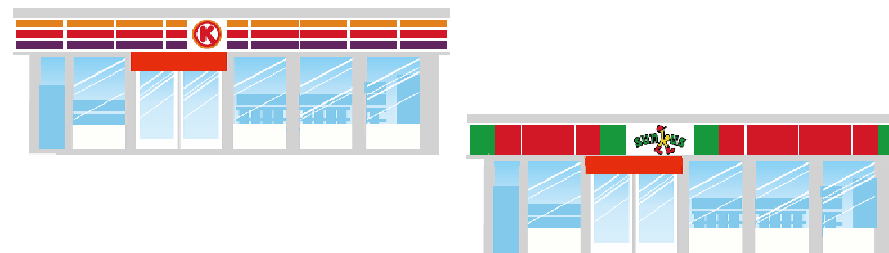
- ・立地特性を5つに分類し、立地別品揃えの考え方を構築

● 12/2期最大のヒット商品「焼きとり」



- ・仕上げのひと焼きと手頃な価格で大ヒット
⇒ カウンターフーズ売上：+28%

- 契約更新プレミアムの導入
- 経営委託店舗の廃止（自営店数大幅減）



- ・契約更新店舗のロイヤルティ率を0.5%減
- ・経営委託店舗をFC店に転換し競争力を向上

● ユニグループPB「Style ONE」拡大



- ・グループ商品戦略の強化
⇒ 売上高は前期比+77億円の112億円に拡大

2013年2月期 経営方針



株式会社 サークルKサンクス

2013年2月期 経営方針 『改革への行動』

加盟店の利益向上

- ホールディングス化による効率改善
- 流通改革による商品の値入率改善

行動は地域で、戦略は本社で

- 地域本部機能(業務・権限)を拡大し、行動のスピードを上げる
- 本部は戦略の横串と行動のチェック
⇒ まず行動、動きながら修正、新たな行動へ

ユニーグループ・ホールディングス設立について



持株会社化の目的

グループシナジーの発揮

- 共同商品開発・共同物流・共同販促により、グループシナジーを最大化

グループの方向性を明確化

- 海外戦略やM&A戦略、新規事業戦略の立案など、
グループの方向性を明確化

グループ経営資源の最適分配

- 人材交流・資金管理一元化により、グループ経営資源を最適配分

全ては加盟店の利益向上の為に!!

2013年2月期業績予想について



単体業績予想の前提条件

● 既存店売上高前年比: ▲1.5%

- ・ 一般商品 : ▲1.8%
- ・ タバコ : ▲2.1%
- ・ サービス : +5.2%



タバコ増税値上効果の一巡に加え、一般商品の伸び悩みを考慮し、▲1.5%の見通し

● 商品平均値入率: 27.39% (前期差+0.25%)

- ・ 一般商品 : +0.62%
- ・ タバコ : +0.01%
- ・ サービス : +0.05%



一般商品分類の大幅改善により、商品全体でも前期差+0.25%の改善

● 店舗純増数: +105店 (前期差+22店)

- ・ 開店数 : 340店
- ・ 閉店数 : 235店
- ・ 店舗純増数 : +105店

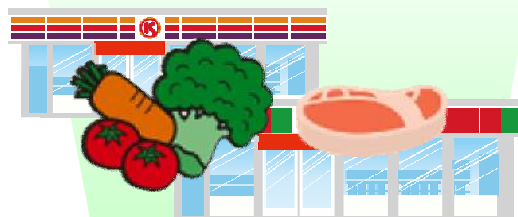


店舗純増数は每期着実に増加させる
10/2期:+19店⇒11/2期:+43店⇒12/2期:+83店

新フォーマットコンビニの展開

ミニスーパー型CVS

青果・生鮮を強化



20%

FF強化型CVS

カウンターFF中心に
ファーストフードを強化



15%

特殊・ミニタイプ

狭小立地対応や
異業種とのコラボ出店



10%

2015年2月期の新規出店比率目標

- 地域本部ごとに新店・既存店の展開店舗数を決め、必ず実行する

⇒ 2013年2月期計画：188店舗（新規出店・既存店合計）

ミニスーパー

88店

FF強化

80店

特殊・ミニタイプ

20店

⇒ 2015年2月期の新フォーマット店舗は1,000店体制へ！！

- 商圈・立地に応じた品揃えを店舗設計・設備も含め大胆に展開

ミニスーパー型コンビニ

〈住宅・工業地住宅など〉

- 青果・生鮮日配品を強化し、お客様の利便性向上に応える
 - ⇒ EOS発注に加え、必要に応じて「現金仕入」で対応を図る
 - ⇒ ユニーとの共通バイイング、商流・物流の共有化を図る

青果の拡大



常温・チルド帯で青果を展開

生鮮日配品の拡大



精肉・加工肉や豆腐類等を拡大展開

StyleONE の拡大



ドライ商材や冷凍食品など **StyleONE** で拡大

パック惣菜の展開



フライヤーで出来たて惣菜を提供

ファーストフード強化型コンビニ 〈繁華街/オフィス・駅前など〉

- カウンターフーズを中心にファーストフードを強化
⇒ 「本格コーヒー」や「手作り米飯」などをカセット的に展開

カセットの一例

本格エスプレッソ
マシーン



やきいも



カウンター
ドーナツ



新型
ウェーブスター



手作り
サンドイッチ



手作りおにぎり
手作り弁当



ドリンクサーバー



フローズン
ドリンク



商品施策について



プライベートブランド戦略

- 消費の二極化に対応した品揃え



ユニーグループのシナジー効果で、お求め安い価格に

2012/2期	2013/2期
300アイテム	450アイテム
112億円	280億円

2012/2期	2013/2期
650アイテム	750アイテム
409億円	500億円



サークルKサンクスならではの
高付加価値商品

2012/2期	2013/2期
350アイテム	300アイテム
297億円	220億円

チルド米飯による米飯分類の挺入れ

● チルド米飯を既存米飯の補完商品として展開

2012/6月

・北海道
・東北

2012/7月

・関東
・新潟

2012/8月

・中京以西
・北陸

【チルド米飯導入の目的・メリット】

- チルドならではの美味しさを追求
- 米飯の品揃えの幅を拡充
- 販売鮮度の延長による品切れの防止

発売予定の商品

※画像は現在開発中のものです



「10時間煮込んだビーフカレー」

「四川風麻婆豆腐丼」

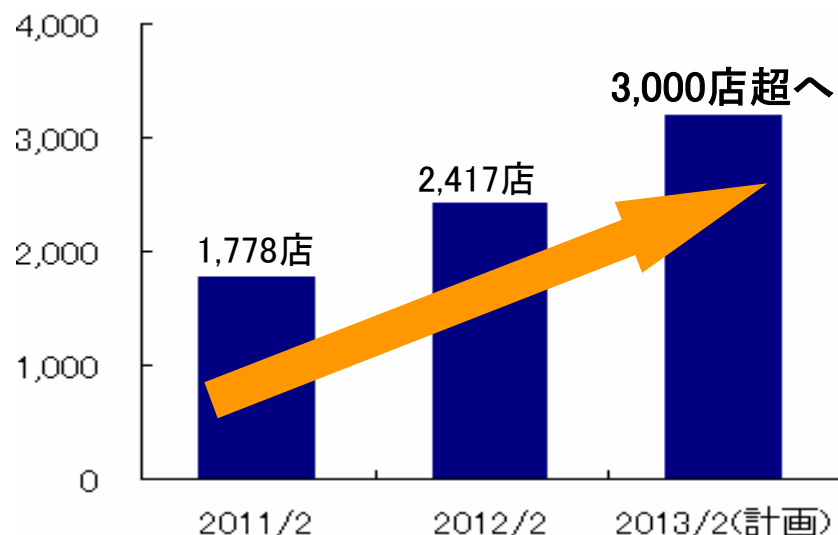
「たっぷり卵の親子丼」

「ビーフシチュー
ハンバーグごはん」

フライヤーを活用したカウンターフーズ強化

- フライヤー導入店舗を3,000店舗体制に拡大
 - ⇒ 「焼きとり」に続くヒット商品の開発
 - ・ こだわりのソースで食べる「串カツ」(120円)を発売
 - ⇒ フライヤーを活用した新商材の展開
 - ・ 揚げ物惣菜のパック販売「ごちそうデリカ」: 300店舗 (13/2期累計)

【フライヤー導入店舗数】(単体ベース)



カウンターコーヒーの徹底強化

- 2012年8月までに全店導入を完了し、販売拠点数日本一へ！
- ⇒ テレビCM投入による販促支援を展開
- ⇒ セット販売による関連販売を強化



関連販売の強化



見通しに関する注意事項

本資料には発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予想を含んだ内容を記載しております。実際の業績は今後様々な要因によってこれらの予想とは異なる可能性があります。